

# 人材養成目的

## 昭和音楽大学

### 音楽学部

#### 音楽芸術表現学科

音楽芸術表現学科は、国際的な視野をもって幅広いジャンルの音楽作品を創造できる、または舞台等で実践的に活躍できる人材を育成するために専門教育を行う。

- 作曲・音楽デザインコースにおいては、アカデミックな音楽能力を基盤として豊かな創造力を持つ芸術音楽の作曲家またはコンピューターを始めとするデジタルテクノロジーを駆使した作品を制作できる作曲家を育てる。
- サウンドプロデュースコースにおいては、様々なジャンルの音楽に精通し、音楽産業界に幅広く貢献できるクリエイター、プロデューサーを育てる。
- 指揮コースにおいては、音楽作品に対する洞察力を養い、芸術性豊かな表現を創造する指揮者を育てる。
- ピアノミュージッククリエイターコース、ピアノ音楽コース、ピアノ指導者コース、ピアノ演奏家Ⅰコース、ピアノ演奏家Ⅱコース、オルガンコース、電子オルガンコース、弦・管・打楽器コース、ウインドシンフォニーコース、弦・管・打楽器演奏家Ⅰコース、弦・管・打楽器演奏家Ⅱコースにおいては、個々の学修者の目指す将来像を尊重し、ソロやアンサンブルの演奏家、優れた指導者を育てる。
- ジャズコース、ポップ&ロックミュージックコースにおいては、表現技術を総合的に学び、多方面で活躍できる優れたミュージシャンを育てる。
- 声楽コースにおいては、ベルカント唱法に根ざしたきめ細かい指導により、歌手としての基礎能力を身につけると共にオペラ教育と海外研修を通じて西欧文化を吸収し、協調性や国際性を養い、個性と創造性豊かな音楽家を育てる。

#### 音楽芸術運営学科

音楽芸術運営学科は、幅広く芸術文化活動を展開できる指導者・スペシャリストを育成するために専門教育を行う。

- アートマネジメントコース、舞台スタッフコースにおいては、自分自身の美学を持ち、感動を大切にできる運営のスペシャリストやクリエイターを育てる。
- 音楽療法コースにおいては、音楽療法の専門知識を持つスペシャリスト、ならびに臨床での実践力を併せ持つ音楽療法士を育てる。
- バレエコース、ミュージカルコースにおいては、舞台芸術にかかわる優れた表現者・指導者を育てる。
- 音楽教養コースにおいては、音楽に関する幅広い領域の専門知識を身に付けながら、独自の個性を社会に生かすことのできる人材を育てる。

### 音楽専攻科

本学の音楽専攻科は、音楽学部で修得した技術、知識を基礎として、より高度な技術と音楽の専門知識を有する人材を育てる。

#### 修士課程

音楽とその関連分野における高度な専門教育を行う。専門領域での実践・研究によって専門分野に貢献し、文化・社会の発展に寄与する人材を育成することを目指す。また、国際的な活動を視野に入れ、その基礎となるコミュニケーション能力を培い、他と和してひとつのものを作り上げるアンサンブル力を養っていく。

#### ・音楽芸術表現専攻(オペラ、声楽研究、ピアノ、弦・管・打楽器、電子オルガン、作曲、指揮、ジャズ&コンテンポラリー)

音楽芸術表現専攻は、音楽を通して自己を表現する優れた人材を養成し、演奏・創作およびその関連分野における高度な専門教育を行う。

学生の専門とする分野に応じ、実践的な研究を通じて、国際的な活動を視野に入れた声楽、器楽のソロ演奏、室内楽、伴奏等の演奏家や作曲家、指揮者、専門技術とコミュニケーション能力をあわせ持つ優れた指導者を育てる。

#### ・音楽芸術運営専攻(アートマネジメント、音楽療法、音楽と文化)

本学の音楽芸術運営専攻は、音楽に関する知識・技能を応用することで、広く社会や人々に貢献する優れた人材を養成し、実践・研究およびその関連分野における高度な専門教育を行う。

アートマネジメントにおいては、国際的な活動を視野に入れ、芸術文化活動の担い手となる実務家や研究者を育てる。

音楽療法においては、高度な専門的能力を発揮し、医療・福祉・教育等の分野における実践や研究を通して社会に貢献できる人材を育てる。

音楽と文化は、高度な専門知識と学術的な研究スキルを持ち、研究者や実務家等として音楽・芸術文化に貢献できる人材を育てる。

#### 博士後期課程

音楽とその関連分野において、きわめて高度な知識と教養および卓越した技能を持って自立して研究を行う能力を備え、将来、この分野における高等教育や高度な学術研究を担うことができる人材を育成する。また、社会や文化に対する広い視野と高い識見をもって芸術文化の未来を展望し、その進展を担うことができる人材を育成する。

#### ・音楽芸術表現領域(声楽、器楽、作曲)

音楽を中心とする幅広い芸術領域において、きわめて高度な知識と教養および卓越した技能を備え、演奏や創作に関する学術的な研究を自立して行うことができ、将来主に音楽の分野における高等教育機関で教育研究を行うことができる人材を育成する。また、学術研究に裏打ちされた芸術作品に対する深い洞察力、社会や文化に対する広い視野と高い識見をもって芸術文化の未来を展望し、その進展を担うことができる人材を育成する。

・音楽芸術運営領域(舞台芸術政策研究、舞台芸術マネジメント、音楽療法)

音楽に関わる芸術・学術領域において、きわめて高度な知識と教養を備え、舞台芸術政策研究、舞台芸術マネジメント研究、音楽療法研究等の学術的な研究を自立して行うことができ、将来高等教育機関や研究機関において教育研究を行うことができる人材を育成する。また、広い視野と高い識見、学際的な知見をもって芸術文化の未来を展望し、その進展を担うことができる人材を育成する。

## 昭和音楽大学短期大学部

音楽科は、各々の専門分野における実践的な能力を備えた教養豊かな人材を育成するために専門教育を行う。

各コースにおいては、基礎を学び多くの実践の場を経験することで、専門性の高い技術・知識を身につける。